

雨水に関する補助金があります

雨水の有効利用による地下水保全のため、雨水タンクや雨水浸透ますを設置する人に補助金を交付しています。申請要件など詳しくは市ホームページを確認してください。

▶雨水タンク

雨水を貯めて庭木の水やりや洗車などに利用するもので、地下水保全だけでなく水道代の節約にも効果的です。

対象製品	容 積	補助内容	補助上限
雨水タンクなどの名称で一般に販売され、有効貯水量が50L以上	200L以上	工事費を含む本体価格の全額	35,000円
	200L未満	工事費を含む本体価格の2分の1	24,000円

▶雨水浸透ます

雨水を地下へ浸透させる装置で、雨水の流出を抑制し水害軽減や地下水の涵養に繋がります。

対象製品	補助内容	補助上限
雨水を地下へと浸透させることを目的として作られた装置	設置に要した額 ※既存の1住宅当たり4基まで	1基当たり 15,000円



▲市ホームページ

地下水位のリアルタイム配信

県では合志市や菊陽町原水(セミコンテクノパーク内)と熊本市水前寺の地下水位をリアルタイムで配信しています。県ホームページでいつでも確認することができます。

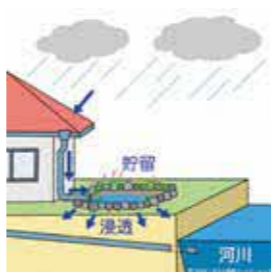


▲県ホームページ

『合志市の雨庭』が完成しました

『雨庭』は降った雨を窪地などに一時的に貯留し、ゆっくり地下に浸透させる構造を持つ庭や空間のことです。市総合センター「ヴィーブル」正面玄関への整備は、『熊本ウォーターポジティブ・アクション』*の一環で行なったものです。

今回、県樹芸農業協同組合が県の助成を受けて実施する『緑化木需給安定対策事業』を活用し、同協同組合や県などさまざまな関係者の協力を得て完成しました。「ヴィーブル」にお越しのときはぜひご覧ください。



出典
『くまもと雨庭パートナーシップ』



▲市ホームページ

*県立大学、肥後銀行など学術機関や企業が連携し推進している、熊本地域の土地開発に伴う地下水涵養域の減少を緩和し、雨水浸透の効果が高く、内水・外水氾濫の軽減にも効果を発揮するグリーンインフラの普及を目的とした取り組み

『第二期熊本地域地下水総合保全管理計画』を策定

本計画は、本市を含む熊本地域11市町村*と県が共同で策定したものです。熊本の宝である地下水の恵みを住民や事業者、行政が一体となって水量と水質の両面にわたって保全していくことが目的で、本計画では、地下水を保全していくための基本方針と具体的な取り組み、それらを踏まえた地下水量に関する将来予測を示しています。計画の詳しい内容は市ホームページをご覧ください。

*熊本市、菊池市(旧旭志村、旧泗水町の区域に限る)、宇土市、合志市、大津町、菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町の11市町村からなる地域



▲市ホームページ

まちづくりに活かしています

企業版ふるさと納税

●問い合わせ先 秘書政策課 ☎096-248-1028 ▲市ホームページ



地方公共団体が行なう地方創生の取り組みを応援する『企業版ふるさと納税』。さまざまな事業を進めるための貴重な財源となっていて、寄附した企業には最大で寄附額の約9割の税額控除が受けられるメリットもあります。本市では寄附金を『合志市まち・ひと・しごと創生推進計画』の取り組みに活用しています。

令和7年度は、27社から計約3,180万円の寄附がありました。本市のまちづくりの取り組みに賛同して下さった企業を紹介します。



株式会社アスクメンテナンス
(本社 熊本市南区)



協成設備工業株式会社
(本社 熊本市東区)



株式会社コスギ不動産ホールディングス
(本社 熊本市中央区)



新産住拓株式会社
(本社 熊本市南区)



株式会社タウン開発
(本社 熊本市中央区)



ネットトヨタ熊本株式会社
(本社 熊本市東区)

※次号以降でも紹介予定

企業版ふるさと納税を活用している『合志市まち・ひと・しごと創生推進計画』とは

本市では、若年層の市外や県外への流出、雇用の場を創出する困難性、出生数の減少などの課題を抱えています。その解決のため、次の目標を掲げています。

- ①付加価値創出型の地域産業をつくる
- ②本市への人の流れをつくる
- ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④魅力的な地域をつくる

これらを実現するための取り組みの貴重な財源として、『企業版ふるさと納税』の寄附金を活用しています。

活用事例はこちら

